

各関係機関長 殿

香川県農業試験場病虫害防除所長  
(公印省略)

平成 28 年度 病虫害発生予察注意報第 11 号について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

平成 28 年度 病虫害発生予察注意報 第 11 号

1. 病虫害名： タマネギべと病
2. 対象作物： タマネギ
3. 発生が予想される地域： **県下全域**
4. 発生程度： **多**
5. 注意報発表の根拠
  - 1) タマネギ普通栽培の前年春期の発生量（2016年4月の発生圃場率：82.4%、発病株率：52.9%）が多かった（第1表）。
  - 2) 1月下旬に実施したタマネギ早どり栽培での発病調査では、発生圃場率が10.0%（平年：0.0%）、発病株率は0.2%（平年：0.0%）であり、例年より早く発生が確認された（第2表）。
  - 3) 昨年の多発生により、圃場内の本病原菌の密度が高まっていると推定されることから、今後、多発生するおそれがある。

第1表 タマネギ普通栽培におけるべと病の発生状況

発生圃場率(%)	発生圃場率(%)			発病株率(%)	発病株率(%)		
	2月下旬	3月下旬	4月下旬		2月下旬	3月下旬	4月下旬
2007	0	0	5.6	2007			2.0
2008	0	0	0	2008			
2009	0	22.2	17.6	2009		5.5	0.3
2010	0	5.6	0	2010		1.0	
2011	0	0	0	2011			
2012	0	0	0	2012			
2013	0	0	0	2013			
2014	0	0	6	2014			1.0
2015	0	0	27.8	2015			3.8
2016	38.9	66.7	82.4	2016	21.9	13.6	52.9
2017				2017			
平年値	3.9	9.4	13.9	平年値	21.9	6.7	12.0

第2表 タマネギ早どり栽培におけるべと病の発生状況

	発生圃場率(%)				発病株率(%)		
	1月下旬	2月下旬	3月下旬		1月下旬	2月下旬	3月下旬
2007	0	0	0	2007			
2008	0	0	33.3	2008			4.1
2009	0	0	22.2	2009			3.5
2010	0	0	0	2010			
2011	0	0	10.0	2011			1.0
2012	0	0	0	2012			
2013	0	0	0	2013			
2014	0	0	0	2014			
2015	0	0	0	2015			
2016	0	0	10.0	2016			0.2
2017	10.0			2017	0.2		
平年値	0	0	7.6	平年値	-	-	2.2

## 6. 防除対策

- 1) 越年罹病株は早急に抜き取る。
- 2) 圃場を見回り、発生を確認した場合は直ちに第3表を参考に薬剤散布する。
- 3) タマネギと同一の病原菌によってネギにも発病するので、今後の発病に注意する。
- 4) 排水不良は発病を助長するので、圃場の排水を良くする。
- 5) 薬剤散布を行う場合には耐性菌の発生を回避するため、同一系統薬剤の連用は避ける。



写真1 タマネギの越年罹病株



写真2 タマネギ葉のべと病の症状

第3表 タマネギべと病の防除薬剤（香川県主要農作物病害虫・雑草防除指針より抜粋）

系統名	FRAC コード	成分名	薬剤名	希釈倍数	使用時期／回数	成分を含む総使用回数
有機硫黄殺菌剤	M3	マンゼブ	ジマンダイセン水和剤	400～600倍	3／5	5回以内
			ベンコゼブ水和剤	400～600倍	3／5	
QoI剤	11	アゾキシストロビン	アミスター20フロアブル	2,000倍	前／4	4回以内
その他	M5	TPN	ダコニール1000	1,000倍	7／6	6回以内
	21	シアゾファミド	ランマンフロアブル	2,000倍	7／4	4回以内
	29	フルアジナム	フロンスайдSC	1,000～2,000倍	3／5	6回以内（苗根部浸漬は1回以内、散布は5回以内）
フェニルアミド剤 有機硫黄殺菌剤	4 M3	メタラキシルM マンゼブ	リドミルゴールドMZ	1,000倍	7／3	4回以内（種子への処理は1回以内、播種後は3回以内） 5回以内
フェニルアミド剤 その他	4 M5	メタラキシルM TPN	フォリオゴールド	800～1,000倍	7／3	4回以内（種子への処理は1回以内、播種後は3回以内） 6回以内
QoI剤 その他	11 M5	アゾキシストロビン TPN	アミスターオプティフロアブル	1,000倍	7／4	4回以内 6回以内
QoI剤 その他	11 27	ファモキサドン シモキサニル	ホライズンドライフロアブル	2,500倍	3／3	3回以内 3回以内
有機硫黄殺菌剤 その他	M3 27	マンゼブ シモキサニル	カーゼートPZ水和剤	1,000倍	3／3	5回以内 3回以内
有機硫黄殺菌剤 その他	M3 40	マンゼブ ベンチアハ <sup>®</sup> リカルブ <sup>®</sup> イソプロピル	カンパネラ水和剤	750～1,000倍	7／3	5回以内 3回以内
			ベネセット水和剤			
有機硫黄殺菌剤 その他	M3 40	マンゼブ ジメトモルフ	フェスティバルM水和剤	750～1,000倍	7／3	5回以内 3回以内
アミ <sup>®</sup> 系殺菌剤 その他	43 40	フルオピコリド ベンチアハ <sup>®</sup> リカルブ <sup>®</sup> イソプロピル	ジャストフィットフロアブル	3,000倍	7／3	3回以内 3回以内
銅殺菌剤 その他	M1 31	有機銅 オキシソニック酸	ナレート水和剤	800倍	14／3	3回以内 5回以内
銅殺菌剤 その他	M1 40	銅 ジメトモルフ	フェスティバルC水和剤	600～800倍	7／3	— 3回以内
その他 その他	M5 40	TPN ベンチアハ <sup>®</sup> リカルブ <sup>®</sup> イソプロピル	プロポーズ顆粒水和剤	1,000倍	7／3	6回以内 3回以内
その他 その他	40 27	ベンチアハ <sup>®</sup> リカルブ <sup>®</sup> イソプロピル シモキサニル	ベトファイター顆粒水和剤	2,000倍	7／3	3回以内 3回以内
その他 その他	21 27	アミスルプロム シモキサニル	ダイナモ顆粒水和剤	2,000倍	3／3	3回以内 3回以内

QoI剤：ストロビルリン系殺菌剤

その他：その他の合成殺菌剤

FRACコード：FRAC（殺菌剤耐性菌対策委員会 <https://www.jfrac.com/>）による農薬有効成分の作用機構の分類。

\*：同一のFRACコードの薬剤については、耐性菌の発達を回避するため連用を避ける。

病害虫防除所インターネットホームページ

URL：<http://www.jpnpn.ne.jp/kagawa/>